



黒小だより



令和7年 5月30日

第2号

【今年度の重点目標】 ～豊かに表現し、学びを深める子の育成～

○学ぶ楽しさと成長を実感できる学校 ○元気な挨拶と思いやりにあふれる学校 ○保護者・地域の信頼で結ばれる学校

みんなで

校長 半田 健一

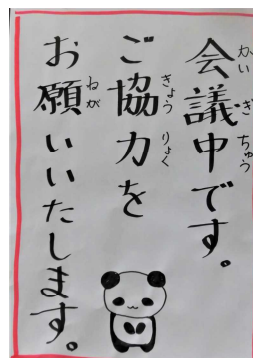
「子どもたちの **じりつ心** を育てる」などと書くときに、育てたいのは「**自立**」なのか「**自律**」なのか、改めて自分に問いかけることがこれまでに何度もありました。

「**自立**」と書けば「他人に頼らず、自分の力で実行する」ということになり、その人の行動を外から見ていると、自立している状態か否かがわかります。

「**自律**」と書けば、「ルールや状況に応じて自分をコントロールして判断する」という意味合いが強く、その人の心の様子まで想像しながら見ることになるでしょう。

生きていく上では「どちらも大事」ということになると思うのですが、集団の中で行動し、生活していくにあたっては「**自律**」が特に重視されると思います。

過日、校長室でオンライン会議に参加する際、右のはり紙をして戸を閉めました。下校の時間にかかり、少し離れたところから楽しそうに話し、大きな笑い声をあげながら近づいてきた低学年3名ほどのグループの会話がぴたりと止まりました。読んで、意図を汲み取って、すぐに判断できたのですからすごいなと思いました。ありがたかったです。また、暑い日に校長室の戸を開けたままお客様と話をしていたときには、高学年の子2名が通りかかり、部屋の中の様子に気づいて、やはりぴたりと話を止めました。そして、してよいタイミングなのかどうかをうかがいつつ、「こんにちは」と挨拶をしてくれました。話し中の私たちへの配慮もあり、お客様はとても感心して帰られました。どちらも「**自律心**」の成長が見えた場面だったと思います。



5月は、運動会に向けた取組や、多くのゲストティーチャーの方を迎えての活動も予定されていたことから、重点を「**みんなで力を合わせる**」とし、集団での行動や生活の仕方を考えさせてきました。「時間を守る」「係の仕事に責任を持って取り組む」など、実践してほしい大切なことはたくさんあります。しかし、「**それがルールだから**」の一言だけでは、すぐに行動できない子もいます。「説得」されても「納得」がなければ多くの人は進んで行動を起こさないからです。6年生が1年生の面倒をみながら、いろいろなことを根気強く、優しく教えてくれています。それは5年間を学校集団の中で過ごした経験をもとに、自分たちが大切だと納得できたことを伝えてくれている姿だと言えるでしょう。学校では一斉の行動を促さなければならない場面もありますが、「自分のしたいことをちょっと我慢することでどうなったか」「我慢しなかったことでどうなったか」ということを振り返らせ、ほめたり、必要な指導をしたりすることを大切にします。みんなで安心して過ごせる集団・社会をつくる土台は、多くのルールを作ることで、ペナルティーを与えることなく、結局のところ「(良心に基づき) **自分の頭で考え、判断しようとする力【自律心】**」を育てることではないでしょうか。ご家庭の協力が欠かせません。よろしくお願いいたします。

明日は運動会。初夏の青空 (だといいな)の下、子どもたちが元気に活動する姿を何より楽しみにしています。そして同時に、子どもたちの「**自律心**」の育ちがどうかも見届けたいと思っています。